

がんセンター だより

2022年

9月

発行

—Vol.6—

目次

- がん相談支援センター長あいさつ
- 岩手医科大学附属病院緩和ケア研修会開催
- 新規腫瘍マーカー検査(OTS-アッセイ)の開始について
- 対話カフェ
- がんサロンからのお知らせ
- 院内がん相談案内情報



がんセンター長
板持 広明
(臨床腫瘍学講座・教授)

副センター長
小原 航
(泌尿器科学講座・教授)

寄り添い、
共に歩む医療をめざして



がんセンター長挨拶

この度、がんセンター長を拝命した板持広明と申します。同じく副センター長を拝命した小原教授をはじめ、2022年8月より「岩手医科大学附属病院がんセンター」は、新体制でスタートいたしました。

岩手医科大学附属病院がんセンターは、前任の伊藤センター長の下、令和元年9月21日の矢巾新病院開院の際に、「腫瘍センター」から「がんセンター」として新たに生まれ変わり、「患者中心の優しいがん医療の提供」を理念に、各診療科および各職種の綿密な連携の下、患者さん本位の最善のがん医療の提供に努めて参りました。

当院は、「都道府県がん診療連携拠点病院」に指定されており、専門的ながん医療の提供、がん診療の地域連携協力体制の構築、がん患者・家族に対する相談支援および情報提供等を行っています。当院がんセンターは、その中核組織であり、これらの使命を全うするため「がん診療センター」、「化学療法センター」、「緩和ケアセンター」、「がん相談支援センター」、「がん登録室」、「がん診療連携室」、「がんゲノム室」、「緩和ケアチーム室」の4センター4室に加え、「放射線治療部門」、「病理診断部門」、「医科歯科連携部門」、「リハビリテーション部門」、「栄養部

門」、「薬剤部門」、「看護部門」、「事務部門」の8部門からなります。

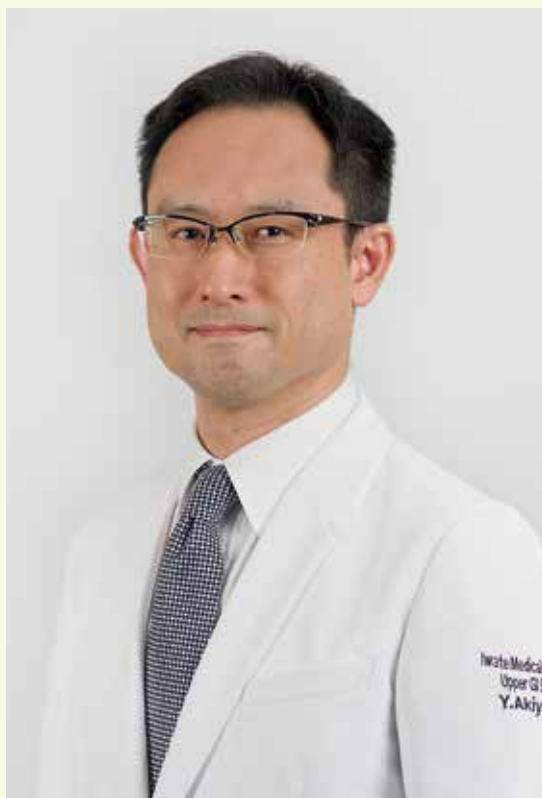
一方、近年のがん診療の進歩は目覚ましいものがあります。当院は、「がんゲノム医療連携病院」の指定を受けており、がんの遺伝子変化に基づく治療等を行う等がんゲノム医療を推進しております。がん薬物療法では、従来の抗がん剤に加えて、分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬が開発され、治療法が専門性を増すとともにそのニーズが高まっています。また、患者さんやご家族の不安や悩みに応える「がん患者・家族サロン」では、個人面談が可能な個室も備えております。さらに、がんプロフェッショナル人材育成やがん登録等も推進し、県のがん診療成績向上に努めるとともに、県内の基幹病院が参加する緩和ケアテレカンファレンスを定期的に行っており、当院のみならず、県内の緩和ケアのさらなる充実を図っております。

これまで以上に、専門的人材の育成や、当院での先進的がん治療の推進ならびに岩手県のがん診療の標準化、均てん化に尽力する所存です。良質かつ先進的医療の提供に向けスタッフ一同努めて参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

がん相談支援センター長あいさつ

センター長 秋山 有史

(外科学講座 准教授)



がん相談支援センターは、全国のがん診療連携拠点病院に置かれている、がんに関する相談窓口です。がんに関する様々な相談や悩みを（誰でも、どんなご相談でも）無料で受け付けております。当院の一階「患者サポートセンター」内にごございますので、お気軽にお立ち寄りください。われわれが、患者さんからご相談いただく内容は様々で、多岐にわたります。例えば、「がんの検査を勧められたが、どうしたらよいのかわからない」「〇〇がんと診断されたが、標準治療について詳しく知りたい」などの診断、治療に関することだけでなく、近年は治療と仕事の両立に関するご相談も増えています。ちなみに、昨年度に多く寄せられたご相談内容は、①医療費や生活費、社会保障制度にかかわること。②がんの診断や治療に関すること。③介護、看護、養育などに関すること。④不安や精神的苦痛に関すること。⑤社会生活（仕事や学業）に関することでした。これらのご相談に対して、担当の相談員が信頼できる情報を提供し、ときに医師や看護師などと連携をとり、解決できるよう支援を行っております。面談だけでなく、電話相談も受け付けております。当院に通院されていない患者さんやご家族からのご相談もお受けしております。「医師には、相談しづらい」、「だれに相談してよいのかわからない」など、実際には、多くの患者さんが不安や悩みを抱えているのが現状で、そのような患者さんに寄り添いたいとスタッフ一同考えております。どなたでも気軽にご相談くださいますよう、よろしくお願いいたします。

2022年4月より、がん相談支援センター長を拝命いたしました。私は、岩手医科大学附属病院の外科で、これまで消化器癌の手術や化学療法を中心に、がん診療に携わってまいりました。がん患者さんの治療は「手術だけ」、あるいは「化学療法だけ」で完結するものではなく、様々な治療法を駆使したり組み合わせたりする「集学的治療」が重要で、様々な診療科との連携が重要です。また、患者さんの治療には、医師だけの力ではなく、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、社会福祉士など、様々な専門職とタッグを組んだチーム医療も必要不可欠です。これまでに院内で培ってきた連携やチーム医療の経験を活かして、がん患者さんのサポートができるよう尽力いたしますので、よろしくお願いいたします。

2022年度

岩手医科大学附属病院 緩和ケア研修会開催



ロールプレイ

緩和ケア研修会は、がん等の診療に携わる全ての医師・歯科医師、緩和ケアに関わる医療従事者の方に基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識、技術、態度を修得することで緩和ケアが診断の時から、適切に提供されることを目的とした研修会です。

開催報告

2022年6月18日（土）岩手医科大学附属病院において、緩和ケア研修会を開催致しました。当院に勤めている医師、歯科医師の他、臨床心理士の参加もあり、合計19名が参加致しました。当日は、当院緩和ケアセンターのスタッフが中心となり、講義の他、グループ演習や、ロールプレイング演習などを行い、より実践的な、研修を行いました。

当院では、今回の研修会で学んだことを、今後の診療に活かし、がんによる痛みをはじめ様々な症状をやわらげると共に、患者さんがその人らしく過ごせるよう支援していきたいと考えております。



グループ演習



グループ発表

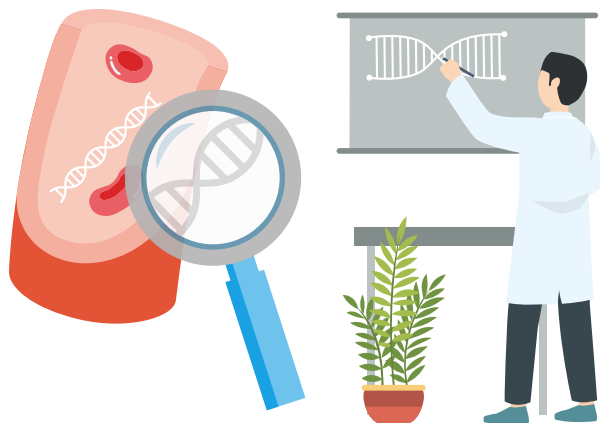


スタッフ

新規腫瘍マーカー検査 (OTS-

OTS-アッセイとは

もし体内にがんがあれば、ごく微量のがん細胞由来のDNAが血中を流れています。OTS-アッセイは、がん細胞由来のDNAを患者さん個人に合わせた腫瘍マーカーとして利用した新しい検査です。



■ 研究成果をもとに特許化した技術を用いた検査

OTS-アッセイでは岩手医大で開発され特許化された「デジタルPCRプローブライブラリー」という技術を使用します。デジタルPCRはもっとも感度が高いPCR技術です。OTSとは「Off-The-Shelf」の略で「すぐに使える」という意味で、その名の通り特許技術を使って速やかな対応を目指しています。

■ 岩手医大附属病院でのOTS-アッセイの実施について

OTS-アッセイに必要な特許技術は岩手医大から株式会社クオントディテクトへ技術移転されました。同社は岩手医大の西塚（筆者）が代表を務めるベンチャー企業です。2022年4月に岩手医大附属病院と同社は業務委託契約を締結し、世界で初めてOTS-アッセイを医療機関で実施できるようになりました。

■ 腫瘍マーカーに求められるもの

腫瘍マーカーは、採血で体内の悪性腫瘍の量を推定することが目的の検査です。治療後の患者さんには、再発スクリーニングや治療効果推定で使用するため、継続的かつ比較的短い間隔での情報が重要です。

■ 対象となる患者さま

OTS-アッセイでは進行がんの患者さんを対象としています。岩手医大で行われた臨床研究では、OTS-アッセイを用いると、従来の検査よりも3-6か月程度早く再発兆候を捉えること、効果がある治療がわかること、長期間再発していない場合はがん細胞由来のDNAが検出されないことなどが示されています。

■ 臨床研究への参加

臨床研究への参加基準を満たせば無料でOTS-アッセイを受けることができる場合があります。

アッセイ)の開始について

岩手医科大学 医歯薬総合研究所医療開発研究部門 附属病院がんセンターがん登録室

西塚 哲

必要な検体と費用

2022年7月現在、OTS-アッセイは以下の三つの検査要素からなる自由診療（自費診療）です。費用と推奨検査回数は下記の通りとなっています。

検査名	OTS-Scan	OTS-Select	OTS-Monitor
内 容	がん組織の遺伝子変異を 探す検査	血中で調べる遺伝子変異を 選定する検査	血中の遺伝子変異の量を 計測する検査
費 用	286,000円(税込) 初回のみ*	14,300円(税込) 初回のみ*	33,000円(税込) 病状により年1-4回

*以前に受けられた検査や参加した臨床研究によっては初回検査が不要場合があります。

受診するためには

かかりつけ医から**岩手医大患者サポートセンター（☎019-611-8071）**

までご連絡ください。その後、岩手医大附属病院臨床腫瘍科の予約日をご連絡いたします。

—— OTS-アッセイの展望 ——

がんの遺伝子変異は患者さん個人、腫瘍ごとで異なります。OTS-アッセイにより、よりきめ細かいがん治療へのナビゲーションが実現するかもしれません。ご支援をよろしくお願いいたします（関係者一同より）。

パンフレットの配布

同封のパンフレットにOTS-アッセイについてマンガで紹介しています。ぜひご覧ください。また、パンフレットは岩手医大がんセンターのウェブサイトからもダウンロードできます。



関連ウェブサイト



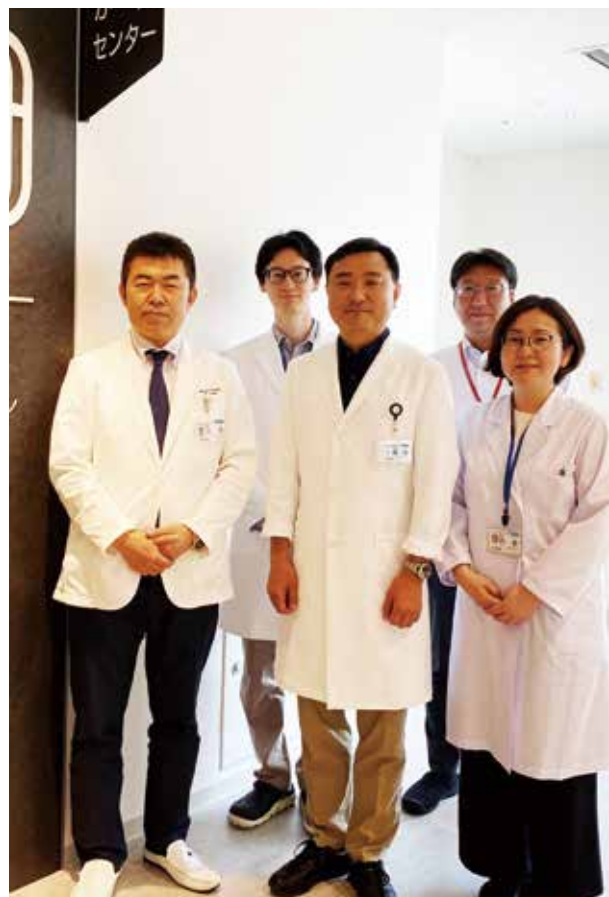
岩手医大がんセンター
OTS-アッセイ紹介ページ



(株)クオントディテクト



岩手医大医歯薬総合研究所
医療開発研究部門



がんセンター企画 もっと知りたい! がんの診断と治療の最前線

対話カフェ 岩手医科大学附属病院 がんセンター

がんセンターでは、コロナ感染拡大に伴い、がん患者さんとそのご家族に対するがん関連情報が十分に発信されていないことを踏まえ、これまでがんセンターが取り組んできた医師との「対話カフェ」に代わるコンテンツを収録して最新情報をがん患者さんやご家族に広く周知を図ることを目的として動画を公開しております。

学校法人岩手医科大学 公式YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCWMILNlL_OnLX3ftq2-YR9A/videos



QRコードは
こちら



第1回

「頭頸部癌の診断と治療—頭頸部がんとは?—」

岩手医科大学
耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座 教授
岩手医科大学附属病院
頭頸部腫瘍センター長

志賀 清人 先生



第2回

「原発不明がん」

岩手医科大学
臨床腫瘍学講座 教授
岩手医科大学附属病院
がんセンター長

板持 広明 先生

「今後もがんに関する様々な情報を動画でアップ予定です。
皆様、ぜひご覧ください。」

岩手医科大学公式YouTubeチャンネルに動画を掲載しております。





現在は、医療者が行うアピアランスケア相談会のみ開催しております。

アピアランスケアとは、脱毛、皮膚や爪の変色・変形、手術の傷あとなど、治療によって起こる外見の変化に対するケアを行うことです。

日時 毎月 第3水曜日
13時30分～15時
場所 2階20番
がん患者・家族サロン
対象 どなたでも
参加費 無料

がん患者・家族サロンからのお礼



まけないゾウ



つまみ細工



ストラップ



布帽子



折り紙の番傘



手作りアクセサリ



アクリルたわし



タオル帽子

たくさんの寄贈ありがとうございます。

がん患者・家族サロンでは、コットン帽子、タオル帽子、アイディア帽子など、心のこもった手作り帽子をたくさん寄贈頂いております。脱毛でお困りの方は、スタッフにお声掛けください。きっと患者さまに似合う帽子を探してくれます。そのほかアイディア作品もございますので来訪の際は、楽しみにしてください。

皆様からの温かいご支援、心より感謝申し上げます。



笑顔文字カード



コットン帽子

患者さんより沢山の感謝メッセージが届いております。

抗がん剤治療で一番つらかったことは、脱毛でした。事前に説明を受けていたものの、鏡を見ると涙がツーツーツと流れました。受け入れがたい病名に「頑張らなくちゃ」と前向きになれる日と不安と孤独な戦いに気分が落ち込む日が交互に来ます。でも、春色の帽子をかぶって満開の桜を見上げたら元気になるような気がしてきました。あなたの優しさにありがとうと感謝の気持ちを伝えたい。ありがとう ありがとう ありがとう。

丁寧に編んでくれてありがとうございます。頑張れっていう気持ちが伝わってきて、心があたたかくなります。まだまだ治療は、長くなりそうだけど頑張ります！

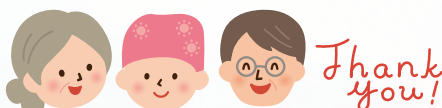
うさちゃんへ
この1周年、ありがとう
なつのおみやげ、ありがとう
なつのおみやげ、ありがとう
なつのおみやげ、ありがとう
なつのおみやげ、ありがとう

本当にありがとうございました。

柔らかくて明るい気持ちになれる帽子をプレゼントしてくださって、ありがとうございます。私の治療は、まだ始まったばかりですが、帽子のプレゼントで力をいただきました。頑張りますね。

思いがけず、帽子のプレゼントを頂き、とても嬉しいです。本当に髪が抜けるんだなーと実感していたので、帽子のプレゼントはタイミングが良く、前向きな気持ちになる助けになりました。ありがとうございます。

まけないゾウ！力になります。心に響きました。私も頑張ります。



院内のがん相談窓口

■がん相談支援センター

がん相談支援センターは、がん患者さんやご家族だけでなくどなたからのご相談も、面談または電話により無料でお受けしております。

専門の相談員が対応しますので、心配なことがありましたら、どんなことでもご相談ください。(個人情報厳守いたします。)

お待たせすることもありますので、あらかじめ日時をお約束することをおすすめいたします。

医療費・経済的負担のこと

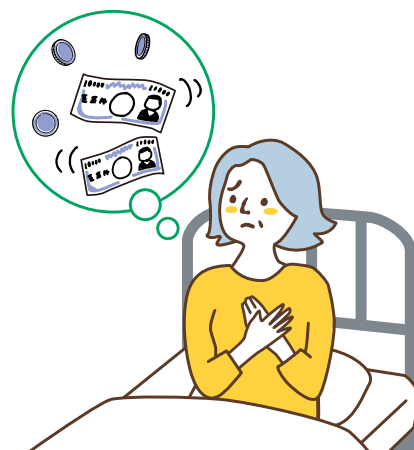
療養生活のこと

セカンドオピニオンのこと

病気のこと

仕事と治療のこと

家族のこと



☎019-611-8073 (直通)

平 日 (月～金) 9:00～16:00

第1・第4土曜日 9:00～12:00

岩手医科大学附属病院 1 階

患者サポートセンター内

■がん患者・家族サロン

がん患者・家族サロンは、がん患者さんおよびその家族に対する精神面を中心としたケアの充実を目的とした場所です。岩手医科大学附属病院での治療の有無に関わらずどなたでも無料で利用できます。

☎019-613-7111 (内線 3222)

平 日 (月～金) 10:00～16:00

岩手医科大学附属病院 東エレベーター 2 階 20 番



がんに関する冊子や書籍の他、治療に伴う脱毛対策としてのウィッグやタオル帽子・コットン帽子のことなど、様々な情報を提供しております。

がん患者・家族サロンホームページ

<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/hospital/gancenter/salon/index.html>

～一人で悩まずに、あなたの不安やつらさをお話してください。～



QRコードはこちら

編集後記

がんセンターだよりを最後までお読み頂きありがとうございます。当がんセンターは、令和4年8月1日より、センター長、副センター長が交代となり、新体制となりました。これまで以上に、皆さまに役立つ情報を発信できるよう心掛けて参りますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



岩手医科大学

問合せ先

岩手医科大学附属病院 がんセンター
〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1-1

TEL 019-613-7111
(内線 3222)